

# 一般社団法人島田青年会議所

## 2026年度 基本資料

### 基本理念

仲間と共に成長し、未来を築く礎をつくる。  
青年会議所運動を通じて行動する若者を増やし、  
その力を地域と次代に生かす人財へと育てていく。

### 基本方針

1. 地域課題に向き合う力を高める会員拡大の推進
2. 組織の力を高めるための、広域的な学びと会員の成長支援
3. 持続的な運動展開に向けた、組織運営体制の整備と見直し

## スローガン

# 礎

～広げる仲間、育てる力、つなぐ未来～

## 理事長所信

一般社団法人島田青年会議所

理事長 石川 良祐

### はじめに

2025年、島田青年会議所は創立60周年という大きな節目を迎え、先輩諸兄が積み上げてこられた志と誇りを改めて実感する一年となりました。そして2026年、本会は次の10年に向けて、新たな一步を踏み出す年となります。

私たちを取り巻く社会は、人口減少や災害リスク、国際的な不安定要素の増加など、多くの課題を抱えています。地域の未来に希望を描くためには、課題から目を背けず、行動し続ける青年の存在が欠かせません。

青年会議所は、社会に必要とされる人財を育て、地域と共に未来を築く使命を持った団体です。今こそ私たちは、仲間と共に学び、育ち合い、地域に寄り添いながら、次の時代へつながる運動を起こしていく必要があります。

## **地域課題に向き合う力を高める会員拡大の推進**

島田青年会議所の会員数は現在15名。かつて100名を超える時代もありましたが、地域全体の人口減少や社会環境の変化を受けて、私たちの組織も真に地域に必要とされる存在であることが求められるときを迎えています。また、近年は青年の関心が多様化し、さまざまな地域団体が存在する中で、「なぜJCか」という問いに正面から向き合う必要があると感じています。

こうした時代における会員拡大とは、単に数を増やすことではありません。それは「誰と一緒に、どんな未来を描いていくか」を団体として問い合わせることであり、JCが持つ本質的な価値を、改めて地域に伝えていく運動です。私たちは、地域に希望を抱き、この島田市・川根本町という地域の未来を担おうとする青年との出会いを通じて、新しいJCの姿を作りたいと考えています。

青年会議所は、仲間と共に学び、挑戦し、時に苦しみながらも成長する場です。その活動の中では、他の団体では味わえないような厳しさや緊張感があります。けれど、その分だけ深い充実と誇りを得ることができます。理事長である私は、日々こう考えています。

「甘くはない。でも、それがJCの価値だ。」この価値を、より多くの青年に届けたいと願っています。

本年度は、JCの存在意義や魅力を自らの言葉で語り、地域の中で信頼と関心を広げていくことを重視していきます。広報の方法や仕掛け方については、型にとらわれることなく柔軟に模索しながら進めていきますが、大切なのはその根底にある“想い”をどれだけ本気で伝えられるかだと考えています。新しい仲間との出会いは、私たちの組織に新しい視点や力をもたらしてくれます。そしてその仲間が加わることで、地域課題に立ち向かう運動の力は確実に増していきます。今年は「仲間を迎へ、60年の歴史の上にさらなる土台を築く一年」として、会員拡大の本質と丁寧に向き合っていきます。

## **組織の力を高めるための、広域的な学びと成長支援**

青年会議所が目指すところは、地域社会に必要とされるリーダーの育成です。そしてそれは、単なる座学や一方向的な指導によって成り立つものではなく、多様な経験や対話を通じて、自ら考え、行動できる人材を育てる営みです。昨年は創立60周年を迎えることで、島田青年会議所の歴史と、脈々と受け継がれてきた理念の一端を感じることができました。

また、経験豊富な先輩が後輩に知識や姿勢を直接伝えることで、この成長のサイクルが自然と育まれていたのだと実感をしました。一方で、会員数や経験者の減少が進み、現在ではそうした体制だけに頼るのは難しいのが現実です。

しかし、先輩方の紡いできた地域や他の青年会議所とのつながりにより多様な学びのあり方を選択することが可能であることも事実です。本年度は、そのつながりを生かし組織の内と外にあるあらゆる「学びの機会」を活かし、個人の成長を促すとともに、それが組織全体の力へと波及していくような流れをつくっていきたいと考えています。

組織内の指導に限らず、外部との関わりを通じて、自分たちの組織では得られない価値観

や知見に触ることは、視野を広げるだけでなく、自分たちの立ち位置を見つめ直すきっかけにもなります。同時に、過去から引き継がれてきた想いや知識もまた、今の時代に即した形で次の世代へとつなげていく必要があります。

大切なのは、これらの学びを「一人の経験」で終わらせないことです。得たものを共有し、組織全体に還元していくことで、会員一人ひとりが自分の成長を組織の力へと昇華させていく。そうした循環が、強くしなやかな組織づくりにつながると私は信じています。

将来的には、より広範な事業や運動を主体的に担っていく機会も控えています。だからこそ今、自らを鍛える姿勢を忘れず、学びと成長を積み重ねること。そのための土壌を、この一年かけて丁寧につくっていきたいと考えています。

### **持続的な運動展開に向けた、組織運営体制の整備と見直し**

2025年度、島田青年会議所は事務局体制の大きな転換を経験しました。これは、人的資源の限られる中で、より効率的かつ柔軟な運営を目指す試みであり、今後の組織の持続可能性を見据えた重要な判断でした。こうした変化は、単なる業務の効率化にとどまらず、私たちの組織全体のあり方を問い合わせ直すきっかけとなるものでした。

しかし、体制の変化があっても、運営の方法や仕組みがすぐにそれに追いつくとは限りません。過去の蓄積を大切にしながらも、今の時代に合った形へと少しずつ整えていく必要があります。私たちが向き合っているのは、「これまでの60年を受け継ぎながら、これからの中身を築いていく」という、大きな節目の運営です。

本年度は、現在の運営体制について一つひとつを丁寧に見つめ直し、必要に応じて見直しや整理を進めていきます。すべてを一度に変える必要はありません。けれど、今後の活動がより機動的に、より確実に実行できるような土台を築くことが大切だと考えています。

この見直しは、一部の役職者だけで完結するものではありません。会員一人ひとりが、組織の運営を「自分ごと」として捉え、自らの関わり方を考え、意見を交わしながら、よりよい形を探っていく。こうした意識が、島田JCという組織の“中身”を強くしていく鍵になると私は信じています。

運営体制の整備は、表に出る派手な取り組みではありません。しかし、それはJC運動を長く続けていくための土台であり、未来の仲間に引き継いでいくべき資産でもあります。今年は、こうした「未来への礎」を静かに、しかし確かに築いていく一年として、運営に真摯に向き合ってまいります。

## 結びに

島田青年会議所がこれまで歩んできた60年の歴史は、まさに地域の未来を想い、仲間と共に挑戦を続けてきた軌跡です。その想いと行動が、今の私たちの礎となり、次の世代へとつながる道しるべとなっています。

本年度は、創立61年という節目に立ち、次の10年を見据えた組織づくりと運動の土台づくりに挑む一年です。地域の課題に真正面から向き合い、仲間を迎え、育て、そして未来へとつないでいく——それこそが、私たちが果たすべき責任であると考えています。

そのためには、一人ひとりの会員が当事者としての自覚を持ち、自ら行動し、仲間と共に学び合う姿勢が何よりも重要です。この一年を、次代に誇れる運動の礎とするために、私は理事長として、全力を尽くしてまいります。

一年間、よろしくお願いします。

## **基本運営方針**

すべての業務は一般社団法人島田青年会議所の  
定款並びに各種諸規定に沿って行う

### **職務分掌①**

#### **筆頭副理事長**

1. 会務全般の掌握及び指導
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 理事会・正副ミーティングの統括及び推進
4. 新入会員準備業務
5. **5月研修例会の企画・運営**
6. 10月しまだ大井川マラソンへの協力事業例会の企画・運営  
**会員親睦会の企画・運営（会員クラブ）**

#### **専務理事**

1. 理事長・副理事長の補佐
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 会計財務管理業務
4. LOM内褒賞の企画・運営
5. みらいくプロジェクトの企画・運営
6. バイパスクリーン作戦の統括 **（各委員会で持ち回り）**
7. 1月例会の企画・運営
8. **8月自由テーマ例会の企画・運営**
9. 11月3青年団体交流例会の企画・運営 (JC主管)
10. 防災協定に基づく活動の推進  
**新年会の企画・運営（会員クラブ）**

## 職務分掌②

### アカデミー委員会及び委員長

1. 新入会員の拡大
2. 新入会員のフォローアップ
3. 3月中部5JC合同例会の企画・運営  
(島田主管)
4. 6月スポーツ例会の企画・運営
5. 9月ブロック大会例会の企画・運営  
**忘年会の企画・運営 (会員クラブ)**

### 事務局及び事務局長

1. 新入会員の拡大
2. 理事会・正副 MTG の設営
3. 各会議の議事録作成業務
4. 総会資料の作成業務
5. 渉外業務
6. 総会の企画・運営 (臨時含む)
7. 4月会員開発例会の企画・運営
8. 選挙管理委員会の運営
9. 当該年度備品準備業務
10. HP、SNS の管理
11. その他、庶務規定第2章「事務局」に則り業務

## 委員会別分担表

月	事業名	アカデミー		事務局
		会員 交流	組織 開発	
1	1月例会の企画・運営 <b>新年会の企画・運営（会員クラブ）</b>	ホ	ホ	
2	総会の企画・運営（2月例会） バイパスクリーン作戦	ホ ☆	ホ	○
3	3月中部5JC合同例会の企画・運営（島田主管）		○	ホ
4	4月会員開発例会の企画・運営 バイパスクリーン作戦	ホ ☆	ホ ☆	○
5	<b>5月研修例会の企画・運営</b>			ホ
6	6月スポーツ例会の企画・運営 バイパスクリーン作戦	○		ホ ☆
7	総会の企画・運営（7月例会） <b>会員親睦会の企画・運営（会員クラブ）</b>	ホ	ホ	○
8	8月自由テーマ例会の企画・運営 バイパスクリーン作戦	☆		ホ
9	9月ブロック大会例会の企画・運営		○	ホ
10	10月しまだ大井川マラソン応援事業例会の企画・運営 バイパスクリーン作戦	ホ	ホ ☆	
11	11月3青年団体交流例会の企画・運営（JC主管）			ホ
12	総会の企画・運営（12月例会） <b>忘年会の企画・運営（会員クラブ）</b> バイパスクリーン作戦	ホ	○	○ ☆

○：例会（事業）担当 ホ：例会ホスト担当 ☆：バイパスクリーン作戦の設営